

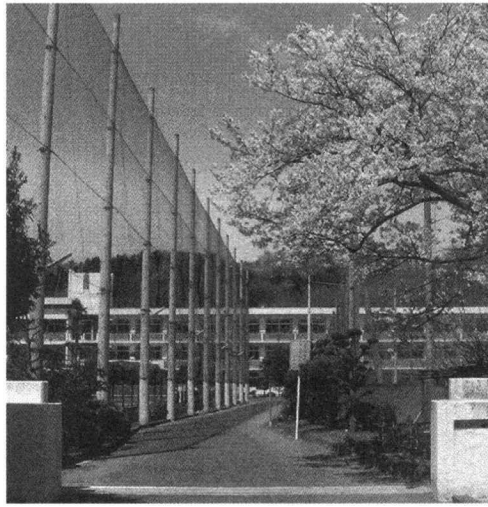
県立 好間高等学校

〒970-1153 いわき市好間町上好間字上川原25



TEL 0246 (36) 2203 (代)
校長/佐藤 秀雄
教職員数 三三四

生徒数 一五〇 (男子82、女子68)
普通科 一年 五四 二年 四五 三年 五一
校章由来 本校は好間川河畔にあり、かつて周辺一帯は葦が生い茂っていた。葦は成長が早く強靱であるため「葦」の「こ」と「く」という意志を表わしたものである。



校歌

作詞/高草 陽夫
作曲/石河 清
一、阿武隈の 光る山なみ
若人を 招くきらめき
ああ ここに我等はつどい
高らかに 未来を呼ぼう
母校よ 母校 好間の里に
夢ひらく青春

沿革

昭和23年 学制改革により好間村青年学校を廃止し新たに県立内郷高等学校好間分校設置
農業及び被服課程を設置
夜間部普通課程設置

昭和29年 新校舎落成式挙行
昭和34年 夜間部募集停止

昭和38年 校章・女子制服改訂

昭和42年 県立好間高等学校として独立許可

昭和48年 体育館新築竣工、校訓制定

昭和57年 校舎改築落成、創立三十五周年記念式典挙行、記念誌の編纂

平成9年 創立五十周年記念式典挙行、記念事業の一環として「新校歌」制定

平成19年 創立六十年周年記念講演会コンサート開催

平成29年 創立七十周年記念式典挙行

学校概要

本校は、規律ある学校生活を通して、豊かな人間性と学力を育み、地域社会に貢献するとともに、自らの理想を目指して努力し続ける人間の育成を教育方針としてかかげている。

施設

本校舎(図書室、視聴覚室、音楽室、美術室、調理・被服実習室、情報処理室・化学・生物・講義室等を含む)、体育館、武道場、弓道場、プール、テニスコート、ハンドボールコート、和室等

校風

校地面積 二二、六五六・九三㎡
建物面積 六、四六六・五七㎡
すぐれた知性：進んで学び論理的に考えることのできる生徒
豊かな情操：感性が豊かで思いやりのある生徒
強固な意志：自分の力でやり抜くたくましい気力と体力をもつ生徒

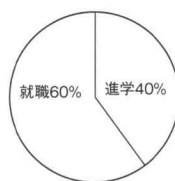
部活動の状況

平成29年度フラガール甲子園最優秀文部科学大臣賞受賞。
運動部 〓 ハンドボール、ソフトテニス、柔道、フラダンス、総合運動

活躍状況

文化部 〓 音楽、総合文化
柔道 〓 インターハイ男子団体15回出場、インターハ

イ男子個人3位(2回目)、国民体育大会18回出場
全国高校柔道選手権団体18回出場、ソフトテニス 〓 インターハイ男子2回個人出場、国民体育大会出場



■進学・就職状況(令和五年三月卒業)
●主な進学先(人数)
四年制大(6) 〓 東日本国際大、山梨学院大、医療創生大、城西大、日本大
短大(4) 〓 いわき短、福島県農業総合センター農業短

■主な就職先(県内15名、県外5名)
日産自動車、常磐興産スバリゾートハワイアンズ、アースポート仙台、福和内、アルティア、いわきワシントンホテル、サカイ引越センターいわき支社、マルト、キョーワ東北工場、古河電池いわき事業所、新常磐交通

■全生徒の主な出身中学校(5年度) (〓内新入生数)
一、好間中学校29名(10) 二、小川中学校21名(8)
三、内郷一中学校19名(3) 四、平一中学校16名(7)
四、平三中学校16名(5) 六、赤井中学校14名(6)
七、中央台北中学校10名(3) 八、内郷二中学校9名(4)
九、平二中学校7名(2) 十、内郷三中学校3名(0)

■学校をとりまく環境
本校は間近に阿武隈の山並みを仰ぐことができる好間川のほとり、常磐自動車道いわき中央インターの近くで旧国道49号線沿いに位置し、自然環境に恵まれた、落ち着いた場所にある。
なお、本校は令和7年4月にいわき総合高校と統合して、新しい学校(総合学科)となる予定である。

■エポック
小規模校の利点を生かし、丁寧できめ細かい教育を実践している。地元中学校出身者が多く、地域に根ざした高校である。

東北最大級の専門学校グループ

学校法人 国際総合学園
FSG カレッジリーグ
〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-21
TEL.024-954-5515 FAX.024-954-5536
https://www.fsg-college.jp

学校法人 晴陵医療学園
晴陵リハビリテーション学院
3年間でリハビリの国家資格に挑む！
関わる人の人生を大切に理学療法士・作業療法士になる！

設置学科 理学療法学科・作業療法学科

〒940-2138 新潟県長岡市大字日越319番地
TEL0258-47-4690 FAX0258-47-4691
http://www.seiryu-reha.ac.jp/